

# 桜桜 ((ささくくら))

展示期間:2021年4月1日(木)~4月28日(水)

展示場所:公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館1階閲覧室

桜(さくら)の名所紹介、植物としての桜(さくら)、桜(さくら)と文学、神様の依り代としての桜(さくら)、編物による桜(さくら)の造花の作り方等の資料を御紹介します。

## [資料の説明]

### ①桜 第1号-第17号

桜の会編輯者  
桜の会刊行/警醒社書店発売  
1918(大正7)年4月-1936(昭和11)年4月発行  
桜の会は、「国花としての桜を愛護する趣味の普及に努め広く之が植継と其保存保護の重要な事を唱道し併せて桜の名所名木の紹介をなすを目的」として結成された。会頭は渋沢栄一(1840-1931)。  
活動内容は「桜の植付」「良種の育成」「各地桜の名所の紹介と援助」「会報「桜」の発行」「講演会、展覧会の催し」であった。

### ②風俗画報 第90号

野口勝一(1848-1905)編輯人  
東陽堂刊行  
1893(明治26)年4月25日発売  
「現今各商店図其五隅田川朝桜の図」(山本松谷(1870-1965)画)、「上野公園桜ヶ岡の花見」(内田樵溪(生没年不明)画)掲載。

### ③風俗画報 第138号

野口勝一(1848-1905)編輯人  
東陽堂刊行  
1897(明治30)年4月10日発売。「玉川の里観桜の図」(山本松谷(1870-1965)画)掲載。

### ④風俗画報 第337号

橋本繁(生没年不明)編輯人  
東陽堂刊行  
1906(明治39)年3月25日発行  
増刊「小金井名所図会」  
「小金橋之図」(山本松谷(1870-1965)画)掲載。

### ⑤六甲山の植物

山鳥吉五郎(1881-1946)著  
新民書房刊行  
1944(昭和19)年4月25日発行  
請求記号:ウエ2-802  
「三六、桜と山吹」(p156-p159)に「山桜」「うはみづざくら」「いぬさぐら」「りんぼく」の記述がある。

### ⑥万葉植物考

豊田八十代(-1941)著  
古今書院刊行  
1931(昭和6)年3月3日発行  
請求記号:ウア2-5  
『万葉集』に歌われた植物約157種について簡単な説明と詠まれた歌を紹介。  
「さくら」はp152-p153に記載されている。

### ⑦潤葉林木編ノ四

(造林学各論 第4編下巻)

本多静六(1866-1952)著  
三浦書店刊行  
1908(明治41)年6月30日発行  
請求記号:ナ3-653オ

本多静六は林学博士。

「第一 さくら(桜)類」では桜の観賞の歴史、桜について書かれた文学、植物学的分類、繁殖法などについて記述している。

### ⑧九重編造花法 松の巻

寺西緑子(生没年不明)著  
国光社刊行  
1908(明治41)年6月30日発行  
請求記号:ニ33-2517

編物による造花の作り方について書かれた本。  
桜については「第十八 さくら(桜)」p87-p93に記載がある。

### ⑨滝澤邦行水彩画第一回桜花百趣展覧会

滝澤邦行(1888-1964)画  
[高島屋美術部刊行]  
1939(昭和14)年3月発行

請求記号:ハニ4-105

1939(昭和14)年3月22日から3月24日まで、東京・日本橋の高島屋美術部サロンで開催された、画家滝澤邦行(1888-1964)の桜花の水彩画の展覧会図録。  
滝澤邦行は滝澤馬琴(1767-1848)の玄孫。

⑩桜の日本

佐藤太平(生没年不明)著  
雄山閣刊行  
1935(昭和10)年4月10日発行  
請求記号:ヨチ2-511  
日本全国の桜の名所が紹介されている。

⑪桜か人か

後藤静香(1884-1969)著  
希望社出版部刊行  
1921(大正10)年8月25日5版発行  
(初版:1921(大正10)年4月25日)  
請求記号:ヨモ2-750  
社会運動家である後藤静香が、「(奈良県)吉野山における史跡、名勝その他文化財を永遠に保存することを目的」に設立された「吉野山保勝会」を支援する為に書いた随筆。

⑫日本一の名木淡墨の桜と其の伝説

山本皓(天声)(生没年不明)著  
根尾霊地開発期成同盟会刊行  
1932(昭和7)年4月20日発行  
請求記号:マウ3-603  
現在の岐阜県本巣市根尾板所字上段995にある「根尾谷淡墨ザクラ」(1922大正11年10月12日内務省天然記念物指定)にまつわる伝説を紹介。

⑬学芸夜話 [第一集]

社会教育協会編集部著者  
社会教育協会刊行  
1931(昭和6)年2月5日発行  
請求記号:ラハ2-6アウ  
「花の春ひらく」(p13-p20)(三好 学(1862-1939)著)が収められている。桜の名所について書かれている。

⑭生活の詩化 紅葉から桜花へ

(速水不染集 第三卷)  
速水不染(生没年不明)者並画  
洵文社刊行  
1931(昭和6)年9月24日発行  
請求記号:ウヒ2-491イ  
速水不染については詳細不明。  
自序に、中学校を免職になり放浪生活を送り、苦心の末六軒の家主となったが、関東大震災で家を失い、心機一転半生を詩に捧げることにしたと書かれている。

⑮新国学談 第二冊

柳田國男(1875-1962)著  
小山書店刊行  
1947(昭和22)年6月15日発行  
請求記号:ウヒ2-491イ  
「信濃桜の話」(p13-p20)が収められている。京都で「信濃桜」と呼ばれるしだれの糸桜は、神様の依り代だったのではないかという仮説を検証した。

⑯桜ノ国絵本

大橋進一(1885-1959)編輯者  
博文館刊行  
1941(昭和16)年4月-1941(昭和16)年7月発行  
請求記号:ルル4-614  
存12冊(複本を含む)  
博文館で出版された絵本。